

検査成績評定項目別評定表(舗装)

第2号様式の4

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工管理	施工管理		提出書類が整っている。
			契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。
			特記仕様書の規定は守られている。
			材料搬入調書の数量は必要量入っている。
			施工管理記録が整理されている。
			工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。
			各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。
			現場の組織・体制が明確かつ現場代理人・主任技術者等が、契約内容を熟知している。
			作業員の資格証明は適切である。
			産業廃棄物処理の書類が整理されている。
			立会い確認の手続きは事前に行われている。
			工事施工にあたり関係機関と事前に調整している。
			隣接地住民、関係者へは工事通知をしている。
			施工継ぎ目の構造は監督員の承諾を受けている。
			舗設作業の順序について、監督員に提出している。
			施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。
	()		
	評定点	／(× 3) × 100=	

検査成績評定項目別評定表(舗装)

第2号様式の4

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工管理	品質管理		材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。
			品質試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。
			品質試験の結果は、規格値を満たしている。
			品質管理についての工事記録写真が整理されている。
			使用材料の規格は、契約書と合致している。
			基準密度は監督員の承諾を受けている。
			締め固め終了後のプルーフローリング結果は報告されている。(路床、下層路盤)
			コア採取により厚さの確認が行われている。
			コア採取により密度の確認が行われている。
			アスファルトの締め固め度、粒度、アスファルト量は規格値を満たしている。
			動的安定度(改質Ⅱ型)、すべり抵抗、平坦性、現場透水量等は規格値を満たしている。
			舗設状況報告書により到着温度、敷き均し温度、転圧終了温度、及び解放温度が確認できる。
			混合所発温度、及び舗設開始温度を運搬車1台ごとに測定している。
			適正温度で舗設作業及び交通開放が行われている。
			施工継ぎ目の既設部分は垂直に切り取って乳剤を塗布している。
			施工継ぎ目の上層と下層は同じ場所で重なっていない。
			アスファルト乳剤は、転圧終了直後、必要量を均等に散布している。
			舗設作業条件(雨天、日平均気温5℃以下は不適)は守られている。
			路面構造物(街渠等)接触面に歴青剤が塗布されている。
			滑り抵抗の測定は、施工後1週間以内に行っている。
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られた。		
	()		
		評定点	／(× 3) ×100=

検査成績評定項目別評定表(舗装)

第2号様式の4

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工管理	出来形		出来高数量は、契約数量を満たしている。
			出来高数量の算出根拠は、整理されている。
			出来高及び出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満足している。
			出来高及び出来形管理の資料は、整理されている。
			出来形計測値は、規格値を満たしている。
			路盤の基準高、幅、厚さは規格値を満たしている。
			路床・路盤の転圧後、縦横断勾配の確認を行っている。
			アスファルトコンクリート層の基準高、幅、厚さは規格値を満たしている。
			路床土を盛土する場合は一層の仕上がり厚は規定値以下となっている。
			クラッシュ層の一層仕上がり厚は規定値以下となっている。
			アスファルト処理混合物層の一層の仕上がり厚は規定値以下となっている。
			アスファルトコンクリート層の一層の仕上がり厚は規定値以下となっている。
			現地立会計測の結果は、管理資料の数値と小差で整合している。
			出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
			出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
			自社の管理基準を設定し、管理している。
	()		
	評定点	／(× 3) × 100=	

検査成績評定項目別評定表(舗装)

第2号様式の4

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工 管 理	出来ばえ		路床土の中の有害物、及び不良箇所は取り除かれている。
			路盤表面のごみ、泥、浮き石等は取り除かれ、乾燥している。
			舗装の平坦性は良好である。
			端部処理は良好である。
			既設舗装へのすりつけ等は良好である。
			雨水処理は良好である。
			管きよ、街きよ、縁石、防護柵の通りは正確に仕上がっている
			モルタルが十分に充てんされ、モルタルが管の内面に出していない。
			街きよ、側溝の流水面に滞水はない。
			縁石の目地モルタルは十分充てんされている。
			人孔、及び柵の蓋は路面にならい、なじみよく据え付けられている。
			人孔、及び柵の内部モルタルはコテを使って丁寧に仕上げられている。
			支柱に取り付けるボルトはナットが車道側で締め付けてある。
			標識板等の向き、角度、表示板と支柱の通り、傾斜等は適正である。
			標識板等の設置位置に配慮がある。
			標識板、支柱に変色・キズがない。
			路面標示工の施工に当たって、施工路面の水分、泥、砂塵等を取り除いてある。
			路面標示の接着状態が良い
			路面標示の視認性が良い。
			全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。(ムラ、なめらかさ、バランス、ゆがみ、隙間)
	目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。		
	出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。		
	()		
		評定点	/ (× 3) × 100 =

備考 1各評価対象項目は、良好(3点)・普通(2点)・やや不良(1点)・不良(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。

2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$

3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。